

## 【令和元年度2月補正予算に係る市長提案説明要旨】

(R2.2.18)

令和元年度伊丹市一般会計補正予算（第7号）についてであります。本案は、国の「安心と成長の未来を拓く総合経済対策」に基づく補正予算を活用し、市民の安全・安心に資する事業を追加するほか、12月補正予算成立後の、情勢の変化に対応するため、国庫支出金、寄附金、基金繰入金並びに市債等を主な財源といたしまして、所要の措置を講じようとするものであります。

その主なものを申し上げますと、安全で安心できる教育・生活環境の充実を図るため、小・中・特別支援・高等学校における、国の「GIGAスクール構想」実現に向けた校内通信ネットワークの環境整備を実施するとともに、幼稚園・小・中学校施設の大規模改造、空調設備の改修、外壁改修による防災機能強化や公園施設の長寿命化計画に基づく遊具の改修等を実施するなど、国の有利な財源を積極的に活用し、32億7千万円規模の国の経済対策に係る事業を実施しようとするものであります。その他、医療扶助が増加したことなどによる生活保護費の追加やふるさと寄附等の各特定目的基金への積立てなど、所要の措置を講じようとするものであります。

その結果、第1条、歳入歳出予算につきましては、それぞれ36億8,073万9,000円を追加し、その総額を816億9,819万8,000円としようとするものであります。

また、第2条の繰越明許費では、先ほど御説明いたしました、学校園施設における校内通信ネットワークの環境整備工事や大規模改造、外壁・空調設備の改修、また遊具等の公園施設改修工事等について、翌年度への繰り越し措置を、第3条の地方債の補正では、小学校施設整備事業等に伴う地方債並びに臨時財政対策債について、それぞれ追加及び変更の措置を講じようとするものであります。

令和元年度伊丹市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）についてであります。本案は、療養諸費、出産育児諸費、国民健康保険システム改修にかかる委託料が当初予算に比べ増加するほか、これに伴う県支出金、繰入金の額の増について所要の措置を講じようとするものであります。

令和元年度伊丹市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）についてであ

りますが、本案は、保険料軽減対象者に係る保険基盤安定納付金の追加に伴い、所要の措置を講じようとするものであります。

令和元年度伊丹市病院事業会計補正予算（第1号）についてであります。本案は、医学振興等のための寄附金が寄せられたことから、基金への積立措置を講じようとするものであります。

令和元年度伊丹市水道事業会計補正予算（第1号）についてであります。本案は、平成30年度老朽管更新事業及び重要給水施設配水管耐震化事業に伴う国庫補助金における消費税分の返還について、所要の措置を講じようとするものであります。

令和元年度伊丹市下水道事業会計補正予算（第1号）についてであります。本案は、国の補正予算に対応する防災・安全社会資本整備事業として、浸水対策事業について国庫補助金及び企業債を財源として、所要の措置を講じるとともに、武庫川流域下水道県事業負担金として、令和元年度の兵庫東流域下水汚泥処理事業に係る本市負担分について、債務負担行為の追加措置を講じようとするものであります。